

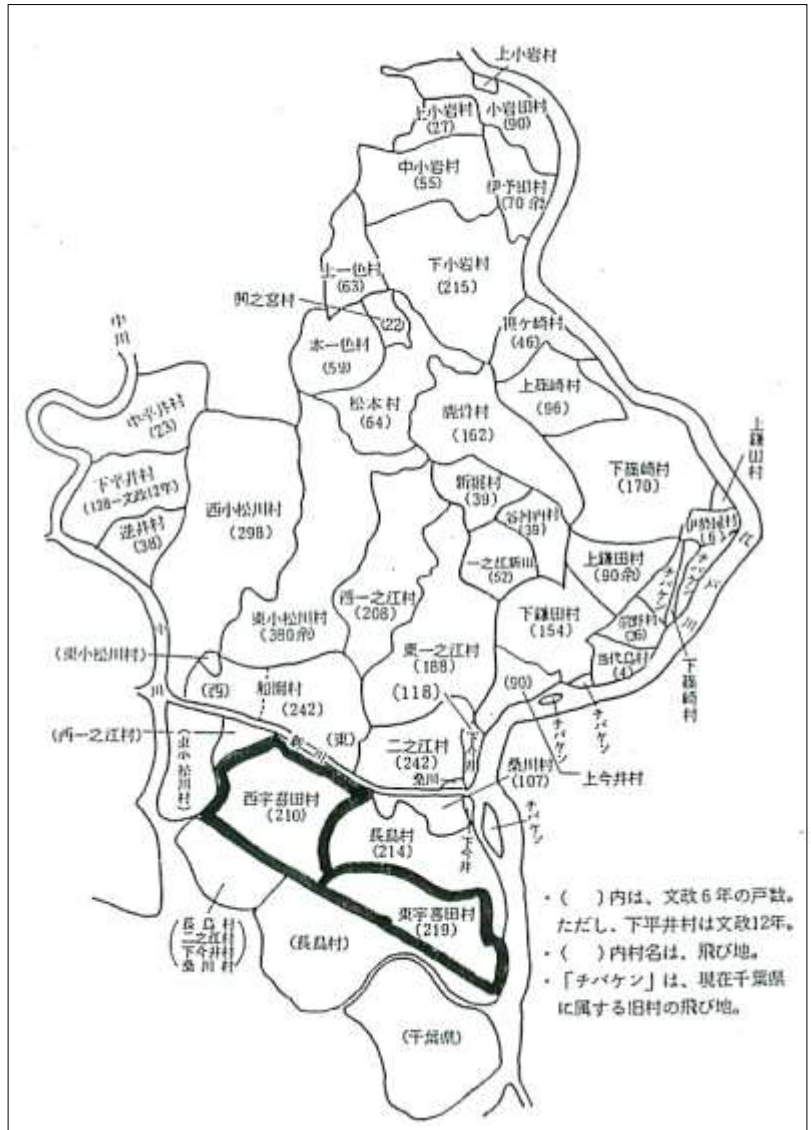
えどがわくちめい  
江戸川区の地名(2)

うきた  
宇喜田

「宇喜田」の地名のおこりは、<sup>うだがわきへいさだうじ</sup>宇田川喜兵衛定氏が中心となって開拓した「<sup>うきしんでん</sup>宇喜新田」に由来していると言われています。

宇田川喜兵衛定氏は、<sup>てんぶん</sup>天文2年(1533)品川に生まれた武士で、<sup>ほうじょう</sup>小田原北条氏の

家臣であったと言われています。弘治年間(1555~57)に小松川に移り住み、海浜の<sup>あしはら</sup>葦原を開墾して、新田を開きました。三千石を開墾し、その功により慶長元年(1596)に上田一町五反を賜っています(「二之江村の条」『新編武蔵風土記稿』より)。宇田川氏が開いた新田は、『武蔵田園簿』には「宇喜新田」とあります。『新編武蔵風土記稿』には、元禄の頃(1688~1704)東・西宇喜田村に分かれ、東宇喜田村には桑川新田・雷組・中割・前津と、西宇喜田村に十四軒・棒蘆場、両村に



文政年間(1818~1830)の旧村名図

それぞれ草刈場の地名(「小名」)が書かれています。現在でも雷・中割(仲町)・  
棒茅場(棒蘆場)などの名前が残っています。

宇喜田町という地名は現在でもありますが、以前のような広い地域ではなく、かつての西宇喜田町の一部にその名前を残すだけとなりました。

- 明治維新までは「東宇喜田村」「西宇喜田村」
- 明治22年(1889) 市町村制施行後、江戸川区域が10村になり、東・西宇喜田の大部分が葛西村に、一部が船堀村になる。
- 昭和7年(1932) 市郡併合により、「江戸川区」が誕生。町界・町名が大きく変わる。
  - ・葛西村大字西宇喜田村が西宇喜田町に。
  - ・葛西村大字東宇喜田村が東宇喜田町に。
- 昭和9年(1934)
  - ・東宇喜田町一円が葛西1丁目、葛西2丁目、堀江町、上蜷島、下蜷島に。
  - ・西宇喜田町一円が宇喜田町に。
- 昭和53年～54年(1968～69) 住居表示の実施により
  - ・宇喜田町の一部が西葛西3, 4, 5丁目
  - 北葛西1, 2, 3, 4, 5丁目
  - 中葛西1, 2(一部)丁目

『江戸川区史全』より「宇喜田町」にかかわる概略を抜粋



現在の宇喜田町

現在では、大半が中葛西と東・西・南・北を付けた「葛西」に変わりましたが、宇喜田町は、わずかだけですが残っています。新川を境にして宇喜田通りと船堀街道の間の地域です。しかし、「宇喜田」という名は、小学校やバス停や通りの他に、公園や児童遊園などにも付けられており、地域の人たちの深い愛着を伺うことができます。

## 江戸川区郷土資料室

〒132-0031 東京都江戸川区松島 1-38-1 グリーンパレス 3階  
TEL : 03-5662-7176 (9:00~17:00)